



図書館だより

2月

NO.10

2011/02/01

ノートルダム学院小学校図書館



—春はもうすぐ...
でもまだ寒い!—

冬が終わって春の季節に入る時。山形のある地方では「寒かんばなれ」飛ひ騾だの白川地方では「節替せつがわり」とも言います。まだまだ寒い日が続きますが暦こよみの上ではもう春です。日は長くなり、草木が芽はぶく季節になります。「春立はるたつ」季節になります。



2月3日 節分

2月4日 立春



—豆まきの起こり—

節分せぶんの日に「ふくはうち、おにはそと」と豆をまいて鬼を追い払いますが、節分の豆まきの起こりはどこからでしょうか。

- ・奈良時代、文武天皇の706年、諸国に疫えき病びょうが流行したので鬼おに儼げん（おにやらい）の儀式ぎしきをしたのが始まり、とも、
- ・平安時代、宇多天皇の頃に鞍馬山の奥に住んでいた鬼神みやくが、都みやこに乱入しようとしたので三石三斗の豆をいって投げ、鬼の目をつぶして鬼の難がたからのがれたのが始まり、とも言われています。
- ・節分の儀式は古く、毎年大みそかの夜に疫鬼えきおにを払い、新しい季節をむかえるために宮中で行われていた儀式で、民間でも行われだしたのは、江戸時代になってからのことです。



—世界の探検家・冒険家たち—

2月12日は冒険家植村直己がマッキンリー登頂成功後消息を絶った日。1941年の同じ日に生まれた植村直己はエベレスト、キリマンジャロなど五大陸の最高峰に登頂、世界で初めて犬ゾリを使って単独北極点に到達など果たした人です。

先月1月22日、タレントの間寛平が2年間かけて、世界で初めて、マラソンとヨットによる地球一周を達成してゴールしました。世界にはジャングル・高い山・地球・南極大陸目指して挑戦した探検家・冒険家たちがいます。物語を読んでみましょう。

- ・「植村直己」長尾三郎・講談社
- ・「植村直己地球冒険62万キロ」岡本文良・金の星社
- ・「植村直己と氷原の犬アンナ」関朝之・ハート出版
- ・「植村直己ものがたり」さかいともみ・教育出版センター
- ・「ひとりぼっちの世界一周航海記」堀江謙一・理論社
- ・「間宮林蔵」筑波常治 国土社
- ・「まぼろしのデレン」関屋敏隆・福音館書店
- ・「伊能忠敬」小西聖一・理論社



— 6年生は2月末までに本の返却を完了しましょう —